

平成 18 年度需給計画の実施状況（報告）

平成 18 年度の需給計画の実施状況について、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第 26 条第 3 項の規定を踏まえ、以下のとおり報告する。

1. 平成 18 年度に国内において製造され、又は輸入されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績

16 製剤のうち、アルブミン製剤等 11 製剤で目標量を上回ったが、他は目標に及ばなかった。

主要 3 製剤

アルブミン：106.1% 人免疫グロブリン：100.3%

血液凝固第Ⅷ因子（遺伝子組換え型を含む）：87.5%

（製造・輸入量実績は、別表の①欄のとおり）

2. 平成 18 年度に原料血漿から製造されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績

国内献血由来の原料血漿から製造された 11 製剤のうち、アルブミン製剤等 10 製剤で目標を達成した。

主要 3 製剤

アルブミン：114.2% 人免疫グロブリン：102.8%

血液凝固第Ⅷ因子（遺伝子組換え型を除く）：93.8%

（製造量実績は、別表の②欄のとおり）

3. 平成 18 年度に必要なと見込んだ血液製剤の種類及び量と供給実績

16 製剤のうち、アルブミン製剤等 9 製剤の供給量が見込量を上回ったが、他は見込量を下回った。

主要 3 製剤

アルブミン：100.9% 人免疫グロブリン：107.0%

血液凝固第Ⅷ因子（遺伝子組換え型を含む）：93.2%

（供給量実績は、別表の③欄のとおり）

4. 平成 18 年度の原料血漿確保目標量と実績

平成 18 年度においては、確保目標量をほぼ達成した。

確保目標量 93.0 万リットル

確保量 92.9 万リットル（達成率 99.9%）